

企画部会 (平成20年度第7回)

議事録

2009年1月23日(金)開催

時間	14:30～16:30		場所	地盤工学会会議室	
西垣副会長	×	土田部長		原田理事	
安藤部員	×	工藤部員		小宮部員	×
佐々部員		高橋部員		堀越部員	
李部員	×				
事務局：戸塚					

：出席 ×：欠席 ：未定

《配布資料》

- ・ 企画部会(平成20年度第6回)議事録案 【別紙-1】 pp.1-2
- ・ 男女共同参画学協会連絡会運営委員会議事録 【別紙-2】 pp.3-5
- ・ 男女共同参画学協会連絡会日中韓フォーラムの共催依頼 【別紙-3】 pp.6-12
- ・ 土木学会講演会「建設分野における助成活躍支援ネットワーク」(仮称)の後援依頼 【別紙-4】 pp.13-14
- ・ 今年度の地盤工学会男女共同参画活動(案) 【別紙-5】 pp.15-16
- ・ 第44回地盤工学会研究発表会における保育所設置とそのアナウンス方法 【別紙-6】 pp.17-19
- ・ 第4回60周年記念事業委員会議事録 【別紙-7】 pp.20-22
- ・ 創立60周年ロゴ、キャッチコピー 【別紙-8】 pp.23-25
- ・ 学会誌記念特集号のテーマ案 【別紙-9】 pp.
- ・ 座談会計画案 【別紙-10】 p.
- ・ 第5回公益法人化推進委員会議事録 【別紙-11】 pp.
- ・ 中長期アクションプランの状況 【別紙-12】 pp.
- ・ 受託研究等の基準 【別紙-13】 pp.

【議題】

議事録担当者の選出 堀越

前回議事録の確認 【別紙-1】

議事録は承認された。

《報告事項》

1. 男女共同参画学協会連絡会の状況について【別紙-2】
12月18日に開催された連絡会運営委員会の議事録が報告された。
2. 60周年記念事業委員会の状況について【別紙-7,8】
原田理事から委員会議事録が紹介された。キャッチフレーズとして、「海に、山に、街に - 地盤工学会」が正式に決定した。
3. 公益法人化推進委員会の状況について【別紙-11】

《審議事項》

1. 男女共同参画委員会について(今後の対応)【別紙-3,4,5,6】
* 男女共同参画学協会連絡会日中韓フォーラムの共催
共催には賛同するが、地盤工学会としては運営委員会の委員は推薦しない。
(ある程度の委員候補として、事務局サイドで個人名があがっている。)
土木学会における対応を確認する(担当:堀越部員)

* 土木学会講演会「建設分野における助成活躍支援ネットワーク」

(仮称)の後援

土木学会の男女共同参画小委員会の委員となっている堀越から主旨、背景を説明。土木学会としては、年次大会でのイベントは開催せず、5月に東京でシンポジウムを開催する。

地盤工学会として、同イベントを後援することが了承された。

後援することについては、総務部にも議題をあげておく(担当:事務局)

* 今年度の地盤工学会男女共同参画活動(案)の検討

工藤部員から活動案の説明がなされた。

土木学会の講演会(5月)については、地盤工学会として会告等にアナウンスを掲載し、参加者確保のサポートを行う。

“夏の学校”(8/13-8/15)に土木学会と共同で参画する方向で準備を進める。堀越部員から土木学会にその旨を連絡し、どのような形の共同があり得るか確認する。

可能であれば、ポスターに“地盤工学会”の名称を追記してもらう。

同イベントにて、下記、特別セッションの宣伝も行う。

第44回地盤工学研究発表会では、DS(ディスカッションセッション)ではなく、特別セッションの形で討論会を実施する。

特別セッションの形態であれば、研究発表会への参加登録が不要。

各分野で活躍している女性技術者に後援していただき、将来、就職を控えた女子学生を中心に参加者を集める。

関東学院大学が会場でもあり、女性技術者の会にも協力要請するとともに、土木学会にも後援学会としてサポート、周知をお願いする。

第7回男女共同参画学協会シンポジウムには不参加とする。

常設委員会設置に向けた活動

地盤工学会単独で常設委員会を設置するのは容易ではなく、土木学会の委員会との連携をベースに今後の方針を考える。

土木学会の委員会は、現在の小委員会の形態から、ダイバーシティの推進活動も含めた上での親委員会化を考慮しているので、どのような形態での連携があり得るのか、土木学会の委員会でも検討してもらう。

HPの充実をはかり、リンク集などを通じて学会員からの活用を推進する。

現在、オブザーバーとして参加している男女共同参画学協会連絡会への正式加盟は現段階では見送る。

* 第44回地盤工学会研究発表会における保育所設置とそのアナウンス方法

昨年度は、聴講だけを希望する人への情報提供が行われなかったため、実行委員会を通じて、その旨、申し入れる。

2. 60周年記念事業について【別紙-9,10】

* 学会誌記念特集号の検討

高橋部員から特集号目次案が紹介された。

「新たな展開」として周辺領域、異分野の方に寄稿をお願いしているが、地盤工学会を知らない方をお願いしても、「今後の新たな展開」を記載してもらうのが難しいので、基本的には学会員をお願いすべきである。

「最近の10年の歩み」の部分については、調査、設計、施工、維持管理とい

った一連の長流れのもと、実務担当者にもお願いできるタイトルを考える。

「新たな展開」と「最近の10年の歩み」の内容構成は、1：1程度の配分がよい。

企画部ですべてを決める必要はなく、会誌部会にアイデアを提示する。

* 座談会の検討

「テーマ1：新公益法人を目指す地盤工学会の社会貢献」について、“社会貢献”というキーワードをはずし、“公益法人になることの意義・主旨、公益法人となると、どう変わるか、何が期待されるか”といった観点から座談会を実施すべきである。

3. 公益法人化推進委員会について【別紙-12,13】

* 中長期アクションプランについての検討

* 受託研究等の基準についての検討

原田理事から、中長期アクションプランの実施状況、中長期ビジョンの達成度について説明がなされた。

4. その他

5. 次回開催予定

2009年3月16日(月)13:00~16:00(3月6日16時~18時に変更)

以 上